



ウィンタースポーツフェスタ^{イン}大倉山

2月18日(土)、19日(日)の両日、大倉山ジャンプ競技場(宮の森1274)において、「中央区ウィンタースポーツフェスタ^{イン}大倉山」が開催され、区民や観光客ら大勢の人たちが冬の遊びを満喫しました。

ジャンプ台のランディングバーン横の階段を徒歩で登る「Satz^{サツ}階段ツアー」や「雪遊びコーナー」、今年から新たに加わった「雪中スポーツコーナー(ストラックアウト・キックターゲット)」など大人から子どもまで楽しめるイベントがたくさん用意され、多くの参加者が楽しみました。



▲階段ツアー後、アプローチの前で記念撮影

中でも、ランディングバーンからタイヤチューブで一気に滑り降りる「チューブすべり」が、並んで待つほどの人気を集めました。スタート地点まで来ると、真下に落ちるような角度に参加者は驚き、悲鳴を上げながら滑り降りていました。



▲Satz^{サツ}階段ツアー



▲大人気のチューブすべり

区老連 第24回輪投げ大会

3月8日(水)、中央区民センター(南2西10)において中央区老人クラブ連合会主催の「第24回輪投げ大会」が行われ、29クラブから48チーム約320人が出場しました。

はつらつとした競技ぶりで熱戦を展開。「それっ」という威勢の良い掛け声や、得点が続くと拍手や歓声が響き渡り、会場は熱気に包まれていました。

今年は、シニアクラブ中央Aチームが、団体優勝しました。



高得点を目指し、真剣に投げる参加者▶



子どもを見守るネットワーク発足

3月13日(月)、子どもたちの安全確保、犯罪のない安心安全なまちづくりを目指そうと「中央区子どもを見守るネットワーク会議」が区内のホテルで開催され、関係者の方約60人が出席しました。

同ネットワーク会議は、区内の各地区で子どもを見守る活動を行っている10団体で構成されるほか、中央区連合町内会連絡協議会や所轄警察署などの13団体と連携を図ります。

今後は、地域での安全パトロールなどの子どもを見守る活動に関する情報交換や、安心安全に関する情報提供、講習会などを開催します。